



横浜市立釜利谷東小学校

6月号

# 学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 令和元年5月31日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

## 不易流行

副校長 佐藤 朋実

今年は暑さの訪れが早く、「東小ジュニアカップ2019」当日も夏を思わせる暑さとなりましたが、ご参観の皆様のご協力のもと、無事に最後まで実施することができました。保護者・ご家族、地域の皆様には、早朝より足をお運びいただき、温かなご声援をいただきましたこと、当日にいたるまでの体調管理や励ましなど、多大なご理解ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年のジュニアカップのスローガンは、

「なかまと協力 勝利をめざせ！！ 東小ジュニアカップ」でした。結果として勝ち負けはありますが、そこまでの過程を大切に、「なかまと協力」して今年の東小ジュニアカップを成功させたい、という子どもたちの思いが込められていました。僅差の勝負になりましたが、成績発表のあとの子どもたちの様子は、仲間と全力を出し切った、スローガン通りのジュニアカップであったことを物語っていたように感じました。

来年度からの新学習指導要領全面実施を前に、今年度は移行期間となっており、学年によって学習する内容や必要な授業時数が増えています。また、暦の関係で5月の最終土曜日が25日でしたので、ジュニアカップまでの練習期間は短く、回数も限られていました。そうした状況の中で、低学年の「玉入れ」や中学年の「お助け綱引き」は、ペア学年の「協力」が目に見える形となるように考えつつ、少ない練習でもルールややり方がわかりやすい競技内容にして、子どもたちも楽しそうに取り組んでいました。高学年の「ソーラン節」では、学級のシンボルとなる大漁旗や個性あふれる手作りの法被といった釜利谷東小の“伝統”を大切にしつつ、動きの組み合わせや隊形移動などは、子どもたちが限られた練習時間で自分のものにできるように取り組んでいました。教育の中でも「不易（時代を超えて変わらない価値のあるもの）」と「流行（時代の変化とともに変えていく必要のあるもの）」という言葉がありますが、時代の流れの中で、何を大切にして、どこは変えていくべきなのかを考えていかなければなりません。保護者や地域の方々の声もお聞きしながら、必要な改善に取り組んでいきたいと思えます。

ジュニアカップで身に付けた力を糧に、子どもたちはまた新たな学習活動に取り組み始めています。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 登下校の安全について

登下校中の事件事故が報道されています。子どもたちにも伝えていますが、ご家庭でも改めて話題にいただき、意識を高められるようお願いいたします。

○人通りの多い道を、できるだけまとまって、まっすぐ登下校する。

○何かあったら、大声を出す、子ども110番の家や人が多くいるところに逃げる、迷わず110番通報をしよう。

○途中でも忘れ物を取りに戻らない。